

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和 3年 1月 29日

アンケート実施： 令和2年 10月

事業所名：こどもプラス三木

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	運動と静養ができる部屋がある。	はい:24件	クールダウンができる部屋があり嬉しいとの意見があった。感染症対策も視野に入れている。
	2 職員の適切な配置	人員配置は満たしているが、運転手不足により送迎サービスに支障が出ることもあるので人員の充実を目指す。	はい:18件 いいえ1 わからない4	もう少し職員数を増やすべきであるとの意見があった。職員の充実を目指す。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	1日の予定を視覚化しており、絵カードを利用したコミュニケーション方法も備えている。	はい:19件 わからない:4件	今後も児童の特性に合わせ、環境整備を続けていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新型コロナウイルス流行につき、感染症対策をとって運営している。クールダウンや運動の部屋をわけている。	はい:22件 わからない:1件	その時に来る児童にとってすごしやすくなるように、柔軟に部屋を使うようにしている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に一度のミーティングで、評価と振り返りを行い、問題点があれば記録し業務改善を行うようにしている。	/	感染症拡大防止につとめながら、実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者外部評価は利用していないが、他事業所の専門職などからアドバイスを受けている。	/	第三者評価の利用も検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	こどもプラス本部の研修を活用している。また、可能な限り外部研修も参加するようにしている。	/	今後も研修を続けていく。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	聞き取りシートや電話も活用しつつ、ニーズを正しく把握し計画を作成するようにしている。	はい:24件	今後もより良い支援のため、ニーズを正しく把握し、提供できる支援を幅広く行っていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	本年度から新様式を採用し、集団と個別による療育を検討するようにしている。	はい:24件	今後も保護者や利用者の意見をききながら、より良い計画をたてていきたい。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	様式に沿って、内容を具体的に記載している。	はい:24件	抽象的にならないよう、利用者にあった実現可能な計画を心掛けていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	日々、記録を残すことによりフィードバックを行えるようにしている。	はい:23件 わからない:1件	今後も続けて行うようにする。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月に一度のミーティングや、日ごろの職務の中での会話などで、プログラムを全体で考えることができるようにしている。		立案も実施も連携をとって行うようにしている。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日や長期休み、祝日などはプログラムをわけるようにしている。ただ、平日と休日で差が出ないように共通項をもたせるようにも心掛けている。		新型コロナウイルス流行下で、安全かつ楽しんで過ごしてもらえるように支援する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動を実施したあとは、帰る前に話し合い反省点があれば次回に活かすようにしている。	はい:22件 どちらもいえない:1件わからない:1件	新型コロナウイルスによる影響で活動が著しく制限されているが、あきらめることなく変化をもたせ、利用者の意見も聞きながら活動するようにしている。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	業務日誌やホワイトボードを使用し、各自の役割分担、ヒューマンエラーを防ぐ取り組みを行っている。		今後も続けていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	業務日誌やホワイトボードだけではなく、振り返りの時間を設けるようにしている。		十分に共有ができてはいるが、不足している場合には紙面での共有も行っている。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援記録を毎回記入するようしており、個別支援会議の時などに活用している。		今後も記録を続ける。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	ガイドラインに従うだけではなく、必要があれば短期間での見直しや修正も行っている。		今後もガイドラインに従い作成をする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	必ず、管理者および児童発達支援管理責任者が参加するようにし、常勤職員も参加し意見が偏らないようにしている。	今後も2名以上での参加を続けていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校を移行する際、担任の先生への挨拶やご家庭との連携を行うようにしている。	まだ不足であると考えており、学校を含めた個別支援会議を行えばより良くなると考えている。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	相談支援専門員を通して、利用者の現在の状況や意見を交えながら話をして、周辺の情報も共有するようにしている。	要望があれば書面への記入なども行うようにしている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	県による研修には積極的に職員が参加するようにしている。	連携をとれる先がまだ少ないので、自立支援協議会などで連携がとれるように交流を図っている。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童館などの交流は行っていないが、遊びに行った公園などで声をかけられる事に対し、内容の説明を行ったり、場合によっては一緒に遊ぶこともあった。	必要に応じ、児童館やアフタースクールとの交流も視野にいれていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域への挨拶や、事業の連携を行うようにし、町内会へ参加している。行事への参加は行っていない。	はい:8件 どちらともいえない:4件 いいえ:1件 わからない:4件 市内の行事には積極的に参加を目指している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	説明と同時に、控えを渡すようにしている。	はい:22件	様式を変更したこともあり、より丁寧な説明を行っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	送迎時などに、直接での説明を行うようにしている。	はい:22件 いいえ:1件 どちらともいえない:1件	説明が不十分なところがあるので、より詳しい説明を行うように心がける。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	個別での相談を行ってはいるが、イベントを開催するなどには行っていない。	はい:16件 いいえ:2件 どちらともいえない:4件 わからない:4件	地域はコミュニティが活発であるため、必要に応じての実施を考える。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連携した支援を第一に考えており、日々共通理解を行えるように努めている。	はい:24件	今後も共通理解を重視する。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者面談は、ニーズがあれば実施することになっている。悩み相談については、積極的に行うようにしている。	はい:21件 いいえ:1件 どちらともいえない:2件	個別支援会議以外での定期的な保護者面談は実施していないが、ニーズがあれば実施するようにしている。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	地域のコミュニティが活発であるため、事業所主体での保護者会の開催は行っていない。	はい:4件 いいえ:4件 どちらともいえない:4件 わからない:7件	地域のコミュニティに対して、積極的に支援を行いたいと考えている。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情の対応体制を整えており、市とも連携をとるようにしている。	はい:19件 わからない:2件	大きな苦情を頂くことはないが、今後も苦情体制を整え告知していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	重要なことは口頭のみではなく、書面や視覚支援による伝達を心掛けている。また、プライバシーにも配慮している。	はい:20件 どちらともいえない:1件	今後も取り組みを続けていくが、伝達に問題ないかは常に考えていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月ごとに会報を作成している。非常時の連絡先を共有してもらうようにしている。	はい:20件 わからない:1件	今後も取り組みを続ける。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	利用者の使用する紙も含めて、個人情報を事業所の外に出さないよう配慮を行っている。	はい:21件	今後も取り扱いには細心の注意を払う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを規定通り作成し、見やすい場所に保管するようにしている。	はい:19件 いいえ:1件 わからない:1件	保護者に対して説明不足の部分があるので、告知を行っていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に消防訓練を行うようにしているが、新型コロナウイルス流行への配慮の中で行うようにしている。	はい:15件 どちらともいえない:1件 わからない:4件	行う曜日が限られているため、実施を知らない保護者もいたようであった。今後は実施曜日も考えていきたい。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	本部の研修だけではなく、ニュースや世論も取り入れながら、ミーティングや日常会話により意識の共通をはかるようにしている。		今後も、時代に合った支援を行えるように情報収集や共有を行う。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	記載を行っており、決定や実施を行う際の書面も用意している。		現段階で行うことはないが、突発的な場合も視野に入れてシミュレーションも行いたい。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	書面にまとめて、アレルギー物質を提供することがないように徹底している。		必要に応じて提携医療機関の指導を受けるようにする。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	規定通り、書面に残し共有を行うようにしている。		今後も取り組みを続ける。